

年末年始、春節における家畜防疫対策の強化

～海外からの家畜伝染病の侵入を防ぎましょう！～

近隣諸国では口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生が継続して確認されています。

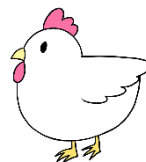
国内では今秋以降、高病原性鳥インフルエンザが4件、豚熱も今年は4件の発生が確認されています(12/25現在)。

今後、年末年始や春節の時期を迎え、人の移動が活発となり、家畜伝染病が侵入するリスクが高まります。

飼養者の皆様には飼養衛生管理基準を遵守し、病原体を農場内に侵入させないように対策をお願いします！

【留意事項】

- 家畜伝染病の発生地域への渡航は可能な限り自粛
※やむを得ず渡航する場合は…
 - ・現地で農場などの畜産施設には立ち寄らない。
 - ・肉製品の持ち帰りはお控えください。
 - ・帰国後1週間は衛生管理区域に立ち入らない。
 - ・海外で使用した衣類や靴の衛生管理区域への持ち込みは厳禁です！
- 外国人技能実習生等の母国からの国際郵便物に肉製品等の有無を確認！
- 衛生管理区域内に入る来場者がある場合は海外渡航歴を確認
- 防護柵や防鳥ネットの設置による野生動物侵入対策と破損箇所の修繕
- 農場周辺や農場、畜舎に立ち入る際の消毒の徹底
- 毎日の健康観察、異常発見時の早期通報
特に特定症状（裏面）は要注意！



京都府山城家畜保健衛生所

TEL：0774-52-2040（夜間・休日転送。年末年始も受付）

FAX：0774-52-2030

各疾病の特定症状

■ 口蹄疫（牛、豚、山羊、羊、鹿）

- 39℃以上の発熱
- 泡状のよだれ
- 口、ひづめ、乳房の水ぶくれ
- 泌乳量の大幅な低下
- 同一畜舎で、複数の家畜の口などに水ぶくれ

■ 豚熱、アフリカ豚熱（豚）

- 耳、下腹部、足等の紫斑（チアノーゼ）
- 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- 結膜炎、目やに
- けいれん、後ろ足の麻痺
- 皮下出血、血便

■ 高病原性鳥インフルエンザ（家きん）

- 同一の家きん舎内での1日の死亡率が、平均的な死亡率の2倍以上
- 急死、とさかの出血・壊死や顔面浮腫
- 産卵率の低下